## ◇ 今こそ変革の時!/

# 2018年版ものづくり白書のポイント

大規模な環境変化に伴って、全ての経営者が持つべき4つの危機感

人材の量的不足に加え質的な抜本変化 に対応できていないおそれあり! その1

<例> 人材スキル変化 デジタル人材不足 システム思考欠如

従来「強み」と考えてきたものが、変革の足かせになるおそれあり! その2

<例> すり合わせ重視 取引先の意向偏重 品質への過信

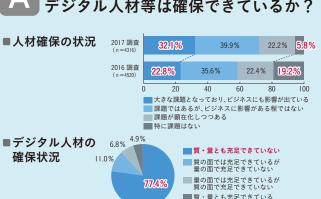
経済社会のデジタル化等の大変 革 期を経営者が認識できていないおそれあり! その3

<例> IT ブーム再来との誤解 足元の好調な受注による慢心

非連続的な変革が必要であることを認識できていないおそれあり! その4 <例> 自前主義の限界 ボトムアップ経営の限界

## 直面する2つの主要課題

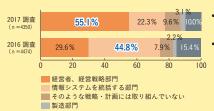
人手不足対応ができているか? デジタル人材等は確保できているか?



ものづくりだけで 付加価値を獲得していけるのか?

■データ利活用を主導する部門

データ収集・利活用が現場主導から経営主導に移行 しかし、収集・利活用の具体的な進展は見られない



- 国内工場でのデータ収集: 66.6% (2016年)→67.6% (2017年)、
- 国内外の工場の個別工程・ 生産工程全般におけるデー タ活用(計画段階も含む): 19.5% (2016年)→21.6%

### その対応策がここにある!

経

主

に

ょ

る

対

応

推

進

- 「現場力」の再構築と、それを実現する「経営力」
- ■大変革の中で、「現場」任せにせず「経営力」を発揮する ことで、デジタル時代の「現場力」を再構築していく

#### デジタル時代の「現場力」

#### 従来の「現場力」

「暗黙知や職人技」を駆使し、問題を「発見」、企業や部門越えて「連携・協力」しつつ課題「解決」のための「道筋を見いだせ る」力。「カイゼン」や「すり合わせ」にも通じる力。

- ●質の高い現場データを取得\_
- デジタルデータとして
- ●職人技を体系化、暗黙知を形式知化」 資産化する力

「現場力」の再構築を実現する「経営力」

#### 解決すべき"経営課題"

付加価値の獲得

省人化

技能承継の実現

#### Connected Industries の推進

■データを介して、機械、技術、人など様々な ものがつながることで、新たな付加価値の 創出と社会課題の解決を目指す

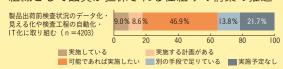


#### ■実現に向けた課題

- ①協調領域の最大化
- ②サイバーセキュリティ対策
- ③システム思考やビジネス設計力を有する人材育成の
- ④Connected Industries の地域への波及、担い手の専門 人材不足

#### ■品質管理体制の強化

組織として品質が担保される仕組みの構築の推進



#### 具体的アクションへ

参考となる先進事例を約 | 50事例 掲載

